

参加無料

「求められる企業内情報の管理と不正の実態」

～いかに平時に統一的に管理・利用し、有事には損失を最小限化するか～

共催：ベーカー&マッケンジー法律事務所(外国法共同事業)
デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社

昨今、企業を取り巻く社会環境の様々な変化の中で、コンプライアンス(法令順守)や情報管理への関心はますます高まってきています。実際に情報漏洩や従業員による不正が発生すると、損害賠償金の支払いといった直接的なコスト負担のみならず、社会的信頼の失墜による業績の悪化など、企業に与える影響は計り知れません。そのため、平時におけるインシデント発生防止に有効な体系的情報管理、また、有事の際に迅速に対応するためのデータマイニングなどにおいて、いかなる視点から整理、統合し、有効に活用するかが重要になってきます。

今回、ベーカー&マッケンジー法律事務所およびデロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社は、「求められる企業内情報の管理と不正の実態」と題しまして、下記の内容のセミナーを開催いたします。本セミナーでは、事例紹介や法的見解を交えながら情報管理のあり方を解説させていただきますので、経営者から実務のご担当者の方まで、幅広い方々に今後の参考情報としてお役立ていただけないかと考えております。

- 対象者：経営企画・事業戦略・事業開発・研究開発部門／法務・知的財産担当部門のご担当者、管理者および責任者様
- 開催日時：2017年2月7日(火)10:00～18:30(受付開始 9:30)
- 会場：JPタワーカンファレンス(東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー4F)
カンファレンスルーム A2,A3(定員 150名)
※参加者は1社につき2名様までとさせていただきます。
※ご好評につき申し込み多数の場合は、抽選とさせていただきます。予めご了承下さい。
- 受講料：無料
- 申込方法：Webサイト(<http://www.deloitte.com/jp/semi3497>)よりお申し込みください。
※お申し込みは株式会社シャノンのサービスを利用しています。
ご記入いただく内容はSSL暗号化通信により内容の保護を図っております。

■ 講演内容：

時間	テーマ	講師
9:30-10:00	受付	
10:00-10:05	Opening remarks	ベーカー&マッケンジー法律事務所 近藤 浩 氏
10:05-11:05	基調講演 「企業内の情報を、いかなる視点から整理、統合し、有効に活用」	ベーカー&マッケンジー法律事務所 達野 大輔 氏

(60mins)	<p>するか」～情報を統一的に管理し、法的・経営的側面から考察する～</p> <p>近年の情報管理は、有事の場合の対応ばかりに注意が向けられ、また個人情報、ディスカバリーといった法律のカテゴリごとに細分化されて管理されており、複数の法律による規制をまたぐ情報の統一的な管理や、社内のデータをビジネスに有効に生かすという観点に欠けている。平時において、それまで無秩序に企業内に流通をする情報を、いかなる視点から整理、統合し、有効に活用するか、またそれを有事対応にどう繋げていくかを解説する。</p>	<p>デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 安井 望 ＜協同講演＞</p>
11:05- 11:50 (45mins)	<p>「個人情報保護と営業秘密の観点から考える、統一的文書管理の在り方」</p> <p>複数の法律の規制に服し、また各部署に散らばる情報をどう管理すべきか。個人情報と営業秘密の観点から検証する。</p>	<p>ベーカー&マッケンジー法律事務所 達野 大輔 氏</p>
	<p>休憩時間 10 分</p>	
12:00- 12:45 (45mins)	<p>「営業秘密漏洩の実務対応」</p> <p>不正競争防止法の改正に伴い、その管理・活用方法について注目の集まる営業秘密だが、企業において営業秘密に関するインシデントが絶えないことも事実である。本講演では、営業秘密が関わるインシデントの事例とその具体的な対処・対策について解説する。</p>	<p>デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社 岡田 大輔</p>
12:45- 13:45	<p>昼休憩</p>	
13:45- 14:30 (45mins)	<p>「企業不正、第三者委員会、およびディスカバリーリスク」</p> <p>企業不正において組成される第三者委員会のあり方と、米国訴訟を踏まえたディスカバリー対応について議論する。</p>	<p>ベーカー&マッケンジー法律事務所 西垣 建剛 氏</p>
14:30- 15:15 (45mins)	<p>「調査委員から見る大型会計不正に関する傾向」</p> <p>第三者委員会報告書の示唆を踏まえ、コーポレートガバナンスにおける3つのディフェンスラン(防御)の重要性を解説するとともに、いわゆる「攻めるのガバナンス」を実現し経営陣の良質な経営行動を引き出すための、機関(取締役会、監査役会)が取るべき行動を提案する。</p>	<p>デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社 築島 繁</p>
	<p>休憩時間 10 分</p>	
15:25- 16:10 (45mins)	<p>「近時のインサイダー取引規制の改正と高まる情報管理の重要性(近時の違反事例を踏まえて)」</p> <p>情報伝達行為自体の違法化により、情報管理の重要性がさらに高まる中、過剰でも、不十分でもない情報管理のあり方について</p>	<p>ベーカー&マッケンジー法律事務所 高橋 謙 氏、渡邊 大貴 氏</p>

	検討する。	
16:10- 16:55 (45mins)	「データマネジメント事例」 ECM(Enterprise Content Mangement)を利用したデータマネジメント事例を紹介。	デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー 合同会社 清水 亮
16:55- 17:00	総括と Q&A	デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー 合同会社 築島 繁
17:00- 18:30	懇親会 セミナー参加者は、無料にて参加いただけます。 懇親会は立食形式にて軽食およびお飲み物をご用意いたします。	

■ 講師紹介:

講師	
	<p>達野 大輔 氏(たつの だいすけ) ベーカー&マッケンジー法律事務所 知的財産・情報通信グループ パートナー 日本、EU、アメリカ等における個人情報保護法に法制に関するアドバイスおよび調査、個人情報保護法に関する社内コンプライアンスプログラムの策定、個人情報漏洩等の際の対策などに関する法的アドバイスを行う。また、知的財産、情報技術の各種案件で国内外の大手企業の代理を務める。個人情報保護対応その他に関する多くの執筆も手掛ける。</p>
	<p>西垣 建剛 氏(にしがき けんこう) ベーカー&マッケンジー法律事務所 紛争解決、コーポレート M&A グループ パートナー FCPA を含む海外贈賄防止のコンプライアンス、それに伴う企業内不正調査の実施。不正情報流出事件において訴訟代理を行う。不正情報流出事件に関する官庁との折衝等も手がける。その他、米国訴訟を含む国際訴訟、紛争解決、国内外の上場企業の不正に関する調査等を行う。</p>
	<p>高橋 謙 氏(たかはし けん) ベーカー&マッケンジー法律事務所 キャピタル・マーケットグループ代表 パートナー 国内・国外での 20 年以上における実務経験を有し、本邦企業、各国の大手企業やソブリン発行体の代理人として、資本市場における資金調達案件、エクイティファイナンス、外国企業の上場案件等に関与。インサイダー社内規定などについて助言している。</p>

	<p>渡邊 大貴 氏(わたなべ ひろき) ペーカー&マッケンジー法律事務所 キャピタル・マーケットグループ アソシエイト 国内企業による国内外における資金調達に関連する法律業務、海外政府機関・企業による国内における資金調達に関連する法律業務、国内企業による金融商品取引所への上場、金融商品取引業者のコンプライアンス等、その他、金融・証券規制全般、会社法等企業法務全般に携わる。</p>
	<p>安井 望 (やすい のぞむ) デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 Partner 外資系コンサルティング会社数社を経て、2009年にデロイト トーマツ コンサルティング合同会社に参画。 Deloitte Digital を含む、Technology を活用した経営改革を推進するサービス部門の責任者を務める。経営管理やサプライチェーンマネジメントといった企業の部門を跨がる全社改革プロジェクトに多数従事。Technology 関連では大型汎用機のプログラム開発、ERP 導入等を経験し、現在では業務とシステムの整合を取った企業全体のシステムアーキテクチャー構築を得意とする。 主な著書:「グローバル情報システムの再構築シリーズ 会計/ロジスティクス/情報管理」「グローバル経営の意思決定スピード」(中央経済社)他</p>
	<p>築島 繁 (つきしま しげる) デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社 Partner 2006年に監査法人トーマツ(現・有限責任法人トーマツ)に入社 トーマツでのこれまでの経験を含め、大手会計事務所において 16 年以上のトランザクション・サービスの経験を有している。買収・統合の案件におけるデューデリジェンスのみならず、再生案件、事業売買案件などにおいても豊富な経験を有しており、国内・海外のクライアントに対して、さまざまなサービスを提供している。最近では TMT 業界における事業売買案件、コンシューマービジネスにおける統合案件に関与し、いわゆるセルサイドデューデリジェンスやカープアウト財務諸表の作成支援も実施している。</p>
	<p>岡田 大輔 (おかだ だいすけ) デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社 Senior Vice President 2008年にデジタルフォレンジック専門企業にて不正調査業務に携わる。デジタルフォレンジックの活用を得意とし、企業不祥事、紛争案件等、様々な事案において、企業、弁護士、会計士への支援、助言を行う。不正調査事案に関しては、これまでに 200 件を超える案件の指揮を取った経験を持つ。 これまでの不正調査経験を活かし、企業における平時の体制構築支援にも力を入れており、特に近年は営業秘密の管理から有事の対応に至るまでのアドバイス業務を行っている。 2013年デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社に入社。</p>
	<p>清水 亮 (しみず りょう) デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社 Senior Vice President 出版社に勤務後、大手電機メーカーにて全社戦略の策定、グローバル BPR のプロジェクトマネジメントを推進。その後、知財ファンド運用会社にてマネージャーとして全社戦略の策定、財務などを担当。専門領域としては新規事業開発プロセス構築、グローバルプロセス統合と知財ファンドにてスタートアップに関連する各種業務設計。 2016年デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社に入社。</p>

■ 問い合わせ先

デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社 セミナー事務局

Tel:03-6213-1180 E-mail: :dtfa_seminar@tohmatu.co.jp

デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人および DT 弁護士法人を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約 40 都市に約 8,700 名の専門家(公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte (デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド("DTTL")ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL(または"Deloitte Global")はクライアントへのサービス提供を行いません。Deloitte のメンバーファームによるグローバルネットワークの詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。